

NY マーケットレポート (2014 年 8 月 12 日)

NY 市場では、米国の主要な経済指標の発表がなく取引材料に乏しい中、序盤のドル円・クロス円はウクライナやイラク情勢の不透明感を背景に、軟調な動きとなった。その後、米求人件数が約 13 年ぶりの高水準となったことを好感して、ドルが主要通貨に対して堅調な動きとなる場面もあった。午後には、米長期債利回りが上昇したことや、欧州市場から続いた円買いの流れが一服したことから、ドル円・クロス円は小動きながら堅調な動きとなった。また、カナダドルは、先週発表された雇用統計のデータに間違いがあり、訂正されるとの発表を受けて、主要通貨に対して堅調な動きとなった。

2014/ 8/12 (火)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	102.29	102.37	102.18
EUR/JPY	136.72	136.89	136.66
GBP/JPY	171.55	171.72	171.40
AUD/JPY	94.72	94.84	94.60
EUR/USD	1.3368	1.3387	1.3360

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	102.37	102.25
EUR/JPY	136.72	136.42
GBP/JPY	171.75	171.47
AUD/JPY	94.80	94.70
EUR/USD	1.3368	1.3336

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	15161.31	+30.79
ハンセン指数	24689.41	+43.39
上海総合	2221.59	-3.06
韓国総合指数	2041.47	+2.10
豪ASX200	5530.32	+73.29
インドSENSEX指数	25880.77	+361.53
シンガポールST指数	3303.39	-3.06

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6632.42	-0.42
仏CAC40	4162.16	-35.54
独DAX	9069.47	-111.27
ST欧州600	328.74	-0.62
西IBEX35指数	10241.50	+48.00
伊FTSE MIB指数	19416.26	-44.41
南ア 全株指数	51449.01	-74.26

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	102.24	102.29	102.10
EUR/JPY	136.65	136.68	136.37
GBP/JPY	171.88	171.98	171.40
AUD/JPY	94.79	94.85	94.64
NZD/JPY	86.25	86.32	86.13
EUR/USD	1.3367	1.3370	1.3341
AUD/USD	0.9272	0.9277	0.9261

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16560.54	-9.44
S&P500	1933.75	-3.17
NASDAQ	4389.25	-12.08
その他主要株	終値	前日比
カナ トロント総合	15274.23	+12.59
ブラ ボルサ指数	44734.04	+54.88
メキシコ ボベスバ指数	56442.34	-170.98

8/13 経済指標スケジュール

08:50	【日】7月日銀金融政策決定会合・議事要旨公表
08:50	【日】2Q GDP
08:50	【日】2Q GDPデフレーター
09:30	【豪】8月ウエストバック消費者信頼感指数
14:30	【中】7月固定資産投資
14:30	【中】7月小売売上高
14:30	【中】7月鉱工業生産
15:00	【独】7月消費者物価指数・7月卸売物価指数
15:45	【仏】7月消費者物価指数
17:00	【ノルウェー】6月小売売上高
17:30	【英】6月ILO失業率
17:30	【英】7月失業者数推移
18:00	【欧】6月鉱工業生産
18:30	【英】8月英中銀 四半期インフレ報告
20:00	【米】MBA住宅ローン申請指数
20:00	【南ア】6月実質小売売上高
21:00	【ポーランド】6月経常収支・6月貿易収支
21:00	【ポーランド】7月消費者物価指数
21:30	【米】7月小売売上高
22:00	【カナダ】7月住宅価格指数
23:00	【米】6月企業在庫

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1310.60	+0.10
NY 原油	97.37	+0.71
CME コーン	369.00	+0.75
CBOT 大豆	1059.50	-13.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.44%	0.44%
3年債	0.89%	0.89%
5年債	1.62%	1.61%
7年債	2.10%	2.08%
10年債	2.45%	2.42%
30年債	3.27%	3.24%

8/13 主要会議・講演・その他予定

- ・米10年債入札
- ・ニューヨーク連銀総裁 講演
- ・ボストン連銀総裁 講演

(出所: SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 102.28 ユーロ/円 136.43 ユーロ/ドル 1.3341

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6627.19	-5.63	ダウ INDEX FUTURE	16519	+4
仏 CAC40	4174.30	-23.40	S&P500 FUTURE	1933.30	+0.70
独 DAX	9123.84	-51.90	NASDAQ FUTURE	3905.50	+0.50

(出所: SBILM)

＜ NY 外国為替市場 序盤 ＞

序盤の外国為替市場は、主要な米経済指標の発表がなく、手掛かり材料難から小動きの展開で始まった。しかし、円を買い戻す動きが出ており、ドル円・クロス円はやや軟調な動きとなっている。

22:33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16551.94	-18.04
ナスダック	4396.14	-5.17

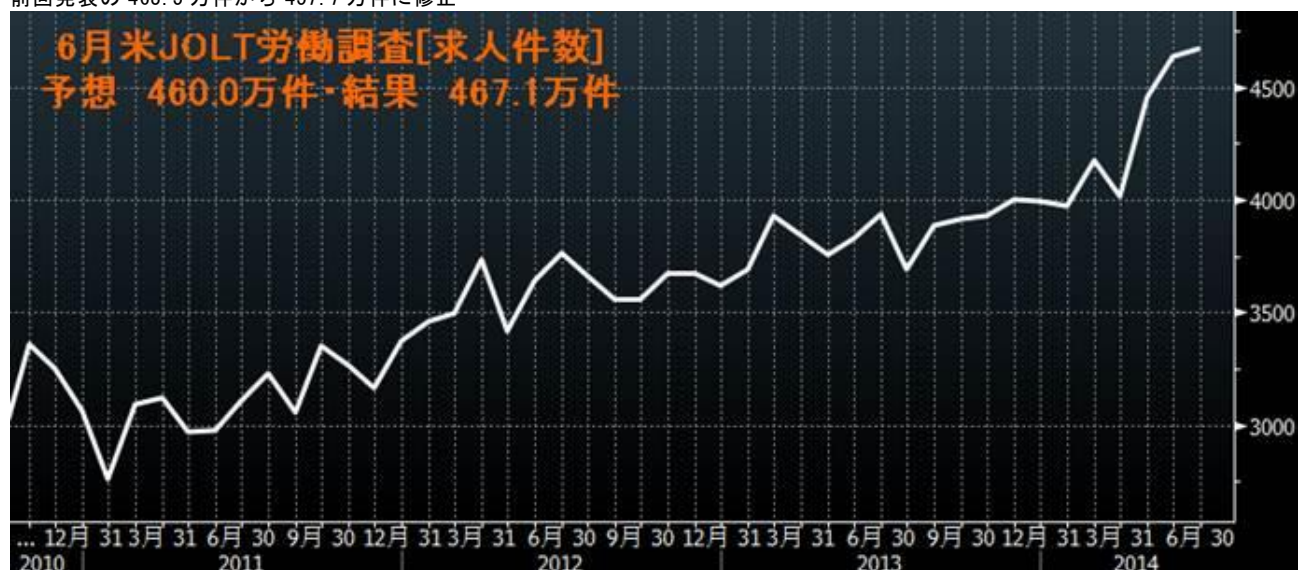
(出所: SBILM)

23:02

＜ 経済指標の結果 ＞

6月米 JOLT 労働調査[求人件数] 467.1 万件（予想 460.0 万件・前回 457.7 万件）

前回発表の 463.5 万件から 457.7 万件に修正



(出所:ブルームバーグ)

23 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、米国の主要な経済指標の発表がなく新規材料に乏しい中、前日までの上昇に対する利益確定の売りが出る一方で、好調な米企業の業績を好感した買いが入るなど、序盤からもみ合いの展開が続いている。

《 ポイント 》

IEA（国際エネルギー機関）は月報で、北米での原油増産で世界の石油需給は改善しており、産油国近隣で起きている紛争により原油価格が急上昇する可能性は低いとの見方を示した。イラク、イラン、ナイジェリアでは減産となったものの、サウジアラビアとリビアの増産が相殺し、OPEC（石油輸出機構）の7月原油生産は5ヵ月ぶりの高水準を記録した。また、アトランティック・ベイスン（西半球と西アフリカ）では、生産過剰の話まで出ているとしている。また、「主要産油国の一部では従来にないほどリスクが高まっているが、原油供給は潤沢。今後も短期的には石油供給に大きな影響はないというのが業界の一致した見方であり、中期的な影響があるかも疑問だ」とIEAは指摘している。

《 経済指標のポイント 》

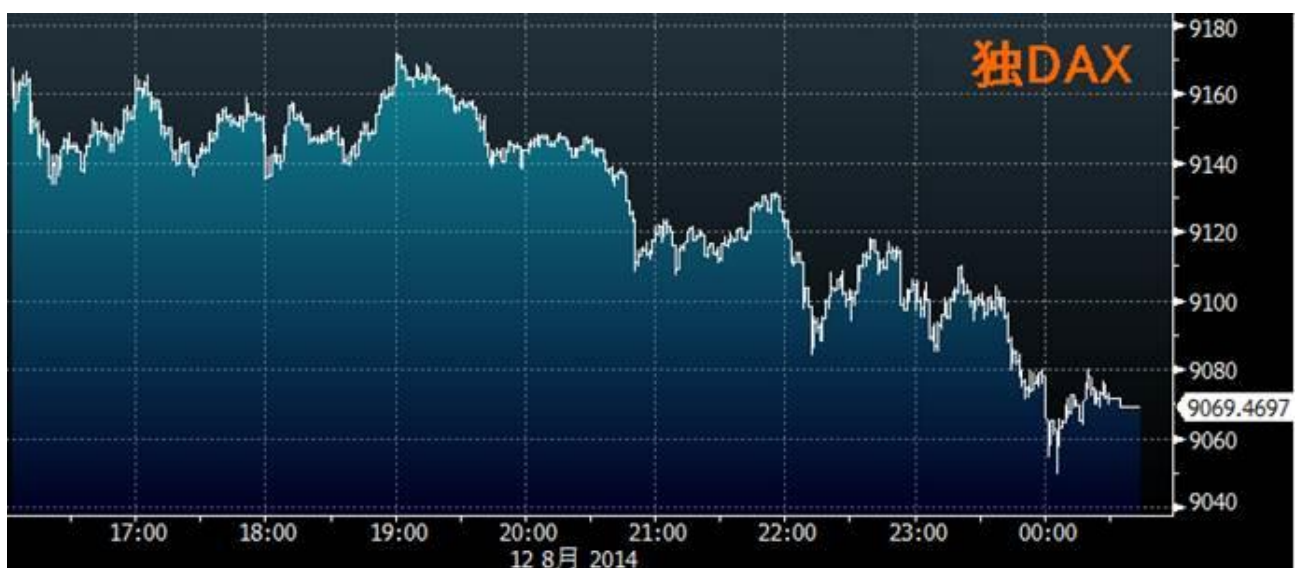
6月の米求人件数は、前月から+9.4万件的467.1万件となり、2001年2月以来の高水準となった。市場予想の460.0万件を上回る結果となり、約13年ぶりの高水準となった。6月に新たに雇用された労働者は483万人で、前月の474万人から増加。全雇用者のうち新規雇用者が占める比率は3.5%と、前月の3.4%から上昇した。また、自己都合による離職者は約253万人で、前月の249万人から増加。自己都合による離職率は1.8%で変わらずとなった。そして、解雇者は162万人と、前月の166万人から減少した。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6632.42	-0.40
仏 CAC40	4162.16	-35.54
独 DAX	9069.47	-111.27
ストック欧州 600 指数	328.74	-0.62
ユーロファースト 300 指数	1320.01	-3.11
スペイン IBEX35 指数	10241.50	+48.00
イタリア FTSE MIB 指数	19416.26	-44.41
南ア アフリカ全株指数	51449.01	-74.26

（出所：SBILM）

《 欧州株式市場 》

欧州株式市場は、ウクライナ情勢を背景に、思惑も交錯する動きとなり、主要株価は反落となった。独 DAX は、ドイツ景況指標の悪化を受けて経済の先行きに対する警戒感が広がったこともあり、下げ幅を拡大する動きとなった。



（出所：ブルームバーグ）

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 16528.66 (-41.32)、S&P500 1931.78 (-5.14) ナスダック 4383.75 (-17.58)

《欧州のポイント》

①ZEW（ドイツの欧州経済研究センター）が発表した8月の期待指数は、市場予想の17.0を下回る8.6となり、8ヵ月連続での低下となった。また、前月の27.1から も大きく低下する結果となった。また、現状指数も44.3となり、2ヵ月連側の低下となっており、ユーロ圏の弱い成長回復に加え、ウクライナ危機が景況感への圧迫要因となっている。

②ドイツ経済省は月報で、第2・四半期の同国経済について、ユーロ圏経済の低迷やウクライナ情勢をめぐる不透明感、中東情勢などに圧迫されると指摘した。その上で、プラス成長のトレンドは続くとの見方を示した。「不透明感は制裁の影響よりも、ドイツ経済を圧迫するだろう。全般的に経済見通しは著しく悪化した」としながらも、引き続きプラス成長のトレンドに変わりはないとしている。第2・四半期のドイツGDP統計は14日に発表予定。

③ECB（欧州中央銀行）は、期間7日の流動性供給オペを実施し、132行に総額1082億0300万ユーロを供給したと発表した。

④ポーランド統計局が発表した2014年上期の輸出は、ウクライナ情勢を背景に、ロシアとウクライナ向けが大幅に落ち込む結果となった。ウクライナ向け輸出は前年同期比-26.4%、ロシア向け輸出は-10.7%となった。ロシア向けは、輸出全体の4.4%を占め、ポーランドにとって第6位の市場だが、EUとロシアの間で見られる制裁の応酬で下期にはこの比率はさらに低下するとの見通しも出ている。ポーランドの副首相は、制裁による影響で今年のGDP伸び率が0.6%押し下げられるとの見通しを示している。上期の輸出は全体では前年同期比+5.4%の800億ユーロ、輸入は+4.5%の802億ユーロ。上期の貿易収支は1億8400万ユーロ（2億4600万ドル）の赤字となった。2013年上期は5億0500万ユーロの赤字だった。

《NY債券市場・午前》

序盤のニューヨーク債券市場は、米3年物国債入札を控えてポジション調整の売りが出る一方、ウクライナや中東情勢の緊張を背景に逃避的な買いも出ており、序盤からもみ合いの展開が続いている。

午前の利回りは、30年債が3.25%（前日3.24%）、10年債が2.43%（2.43%）、7年債が2.09%（2.09%）、5年債が1.61%（1.62%）、3年債が0.90%（0.89%）、2年債が0.44%（0.44%）。

2:00

《米財務省3年債入札》

最高落札利回り・・・0.924%（前回 0.992%）

最低落札利回り・・・0.833%（前回 0.895%）

最高利回り落札比率・・・58.93%（前回 5.49%）

応札倍率・・・3.03倍（前回 3.38倍）

3:00

《経済指標の結果》

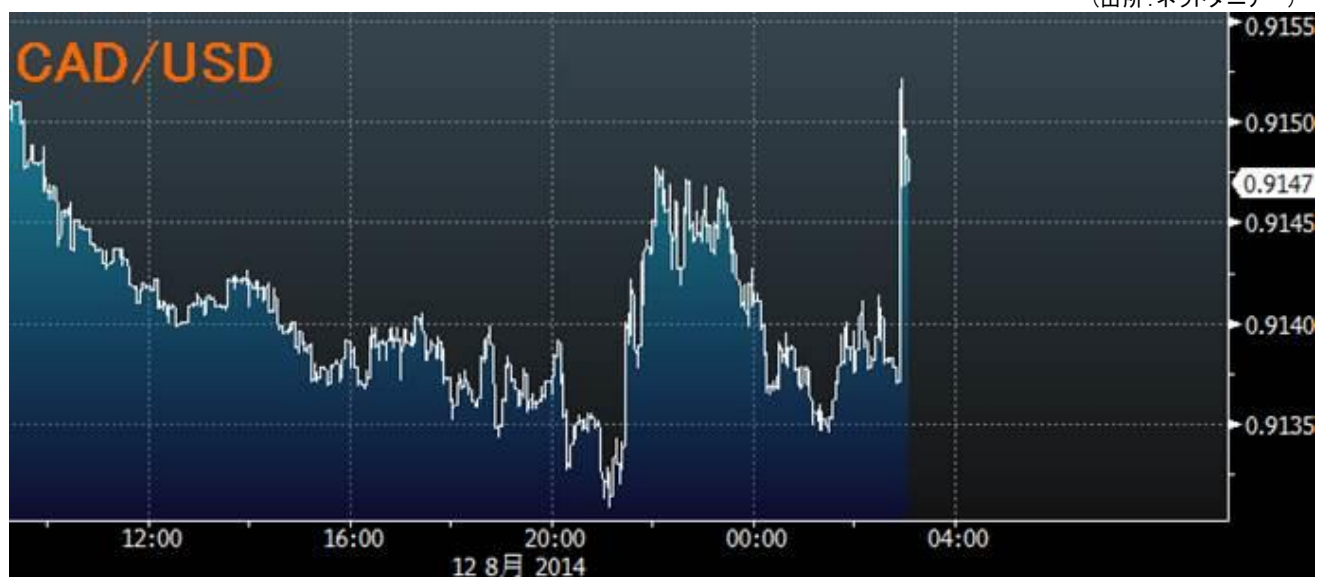
7月米財政収支 -946億USD（予想 -960億USD・前回 705億USD）



（出所：ブルームバーグ）

3 : 00

カナダ統計局が、先週発表した雇用統計のデータに間違いがあると発表した。
更新したデータを発表するとした。



3 : 40

NY 金は、中心限月が前日比 0.10 ドル高の 1 オンス = 1310.60 ドルで取引を終了した。

4 : 15

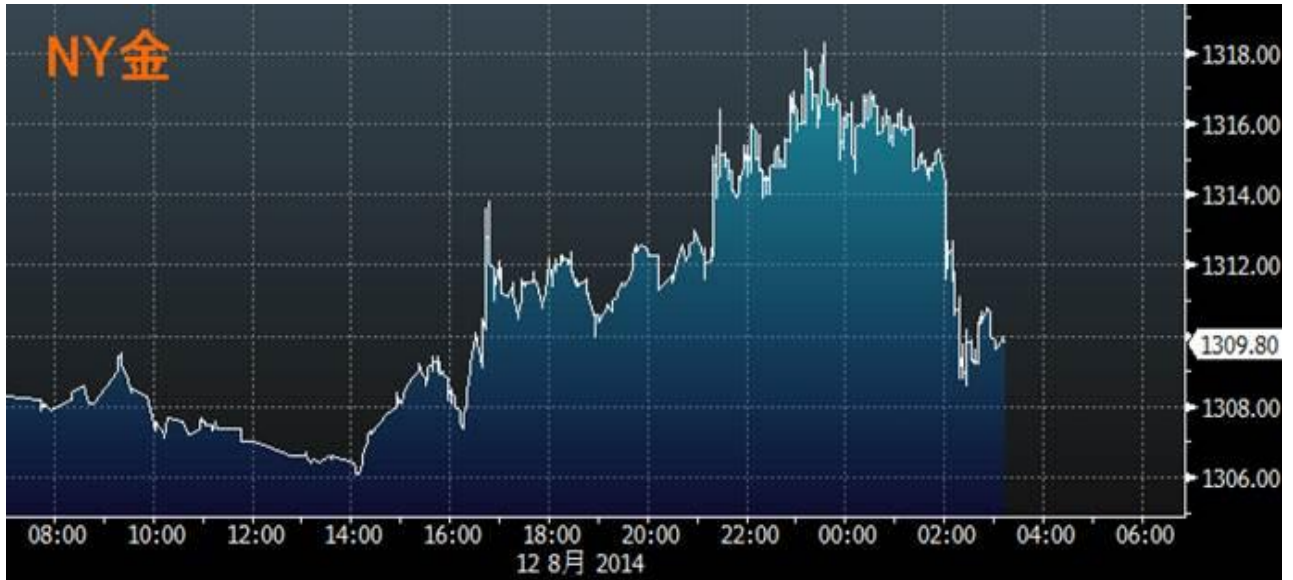
NY 原油は、中心限月が前日比 0.71 ドル高の 1 バレル = 97.37 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1310.60	+0.10
NY 原油	97.37	+0.71

(出所: SBILM)

《 NY 金市場 》

NY 金は、ドイツの景況指数の悪化を受けて世界景気の先行き不透明感が広がり、比較的安全な資産とされる金を買う動きが先行した。ただ、ドルがユーロなどに対して上昇し、ドル建てに割高感が出たことから売りも出ており、小幅高にとどまった。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、IEA（国際エネルギー機関）が、今年の世界の石油需要見通しを引き下げる一方、OPEC 加盟国の 7 月の供給が増加したと報告したことを嫌気し、売りが優勢となった。終値ベースでは、4 営業日ぶりに反落となった。



(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16560.54	-9.44	16589.31	16518.06
S&P500 種	1933.75	-3.17	1939.65	1928.29
ナスダック	4389.25	-12.08	4407.08	4371.84

(出所: SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、米国の主要な経済指標の発表がなく新規材料に乏しい中、前日までの上昇に対する利益確定の売りが出る一方で、好調な米企業の業績を好感した買いが入るなど、序盤からもみ合いの展開となった。しかし、ウクライナやイラク情勢の不透明感から、上値の重い展開が続いた。ダウ平均株価は、序盤は堅調な動きとなったものの、その後は上値の重い展開が続いた。



(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	102.24	102.29	102.10
EUR/JPY	136.65	136.68	136.37
GBP/JPY	171.88	171.98	171.40
AUD/JPY	94.79	94.85	94.64
NZD/JPY	86.25	86.32	86.13
EUR/USD	1.3367	1.3370	1.3341
AUD/USD	0.9272	0.9277	0.9261

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、ウクライナ情勢の不透明感などを背景に、序盤のドル円・クロス円は軟調な動きとなった。その後は、円買いの動きが一服し、値を戻す動きとなったものの、上値は限定的となった。ユーロは、ドイツの景況感が2012年以来の低水準に悪化したことから主要通貨に対して下落したものの、NY市場では値を戻す動きとなっている。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。